



日本共産党
【政治活動版】
【発行】
日本共産党
尾道市委員会
Tel.0848-22-3891
Fax.0848-23-3534

新聞赤旗
申込先
岡野長寿
0845-22-2596
魚谷さとる
0848-22-2810

岸田首相には、すぐやめてもらいたい！

— 猪原まゆみ氏が衆院選広島5区に立候補を表明 —



立候補表明した猪原まゆみ氏

**国民の平和で文化的な暮らしを求める
共産党の活動に共感して党に入った**

猪原まゆみ氏は記者の質問に答えて、「市民劇場の活動をする中で、寺本真一市議(当時)の勧めで入党しました」と入党の経緯を語りました。

そして、誰もが平和で豊かなくらいができる世の中になりたい。子どもや孫たちが、自分の人生を全うできる社会にしたい」と決意を表明しました。

祖父はフィリピンのルソン島で戦死した

戦争の火種をなくしたい

また猪原氏は、岸田首相がこれまでの平和主義を投げ捨て、5年間で43兆円もの大軍拡をすすめ、日本の進路を大きく歪めようとしていることに懸念を表明。祖父がフィリピンのルソン島で

戦死したという自身の経験に照らし、二度と戦争をしてはならない。岸田首相には、今すぐやめてもらいたいと率直な思いを強調しました。

7月26日、10時尾道市役所で猪原まゆみ氏が記者会見を開き、次期衆院選への立候補を表明しました。角谷進共産党県副委員長、岡野長寿市議が同席しました。

**「中学校給食を実現する会」会長として市議会に
請願、給食無償化や橋の通行料軽減したいと**

「候補者として活動するのは初めてで、私が立候補することで1人でも選挙に行こうという人が増えたら嬉しい。数年前に中学校に給食が無いことに愕然とし、中学校給食を実現する会を立ち上げ、署名請願活動に取り組んだ。それが実を結びつつあることは嬉しい。学校のトイレに生理用品を配置するこ

とや給食無償化、しまなみ海道の市内通行部分に対する料金軽減などぜひ実現したい」と語りました。

【猪原まゆみ氏の略歴】

日本共産党広島県東部地区常任委員
新日本婦人の会尾道支部長
尾道商業高校卒業、62歳
尾道市山波町在住

今年こそ核兵器禁止条約に参加を！

— 国民平和行進、今年も熱く —



尾道市役所前の出発式に集まった参加者

原水爆禁止尾道地区協議会(住田哲博会長)は、市役所前で国民平和行進の出発式を開催、22人が参加しました。東京夢の島から広島まで行進している村上あつきさんとフィリピンから参加の青年があいさつを行いました。

平谷祐宏市長からも激励のメッセージが寄せられ、前川市民生活部長が代読しました。その中には「非核平和都市宣言」(昭和60年)をしている尾道市として、「核兵器のない世界の実現に向けて、国内外に広く、広島と長崎の声を発信していく必要がある」との言葉があり、参加者を激励しました。

吉和宏市議会議長からも平谷市長と共に、国民平和行進への連帯のペナントが寄せられ、参加者を激励しました。

川井会長代行が、前川部長らに協力と激励に対する感謝の言葉を述べ、三原市に向けて平和行進をスタートさせました。

この行進には、5区予定候補者となった猪原まゆみ氏も行進を先導する車にアウンサーとして参加し、市民に呼びかけました。共産党市議団の岡野、魚谷両市議も参加しました。



記者会見をする猪原まゆみ氏